

子の返還の実現方法の概要

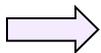
(134条～143条)

1 間接強制

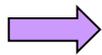
間接強制の申立て

間接強制決定

財産の差押え



(134条)



【例】〇月△日までに子を常居所地国に返還しないときは、1日あたり××円支払え。

(民執172条1項)



(民執43条～167条)

相手方が返還命令に従わない場合

間接強制決定確定後**2週間**経過

(間接強制前置) (136条)

2 子の返還の代替執行

申立て

審尋

授權決定

子の解放

子の返還

(134条, 137条)

(民執171条3項)

(138条, 139条)

(140条)

(141条)

・子の返還を実施する適切な者を特定して申立て

・他方の親からの事情聴取

・子の返還を実施する者(例:申立人, 子の親族)を指定

子の利益に配慮

・説得
・抵抗排除



威力



執行官が監護者から子を解放

返還者

返還者



返還を実施する者が子と共に帰国

